

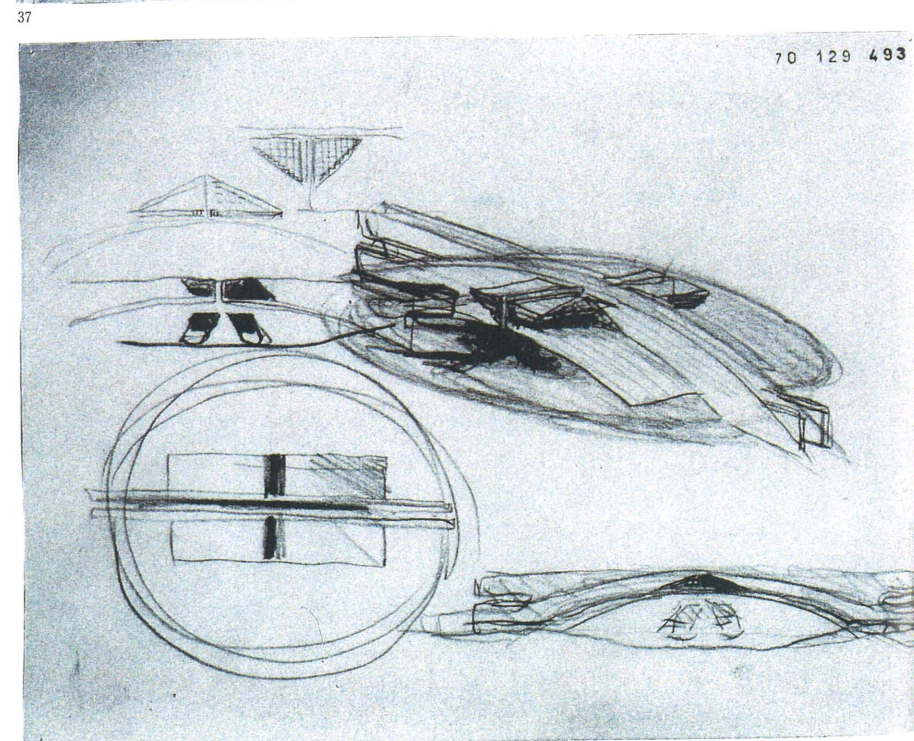
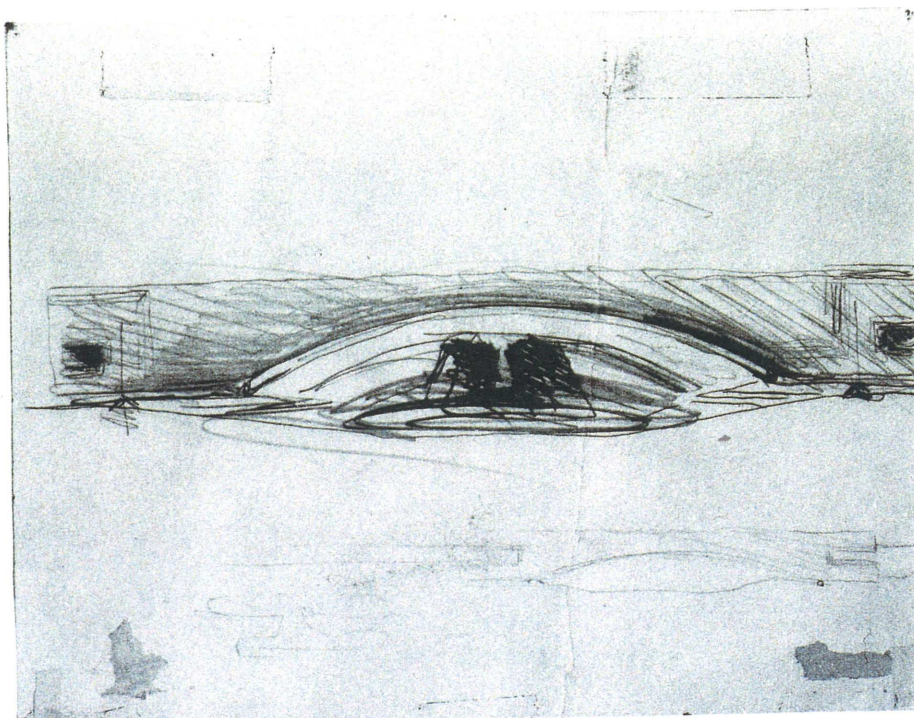
図36：寄り添うふたつの墓の上を跨ぐ橋。橋の上から水面に向けて垂れ落ちる植物。鮮やかな色彩で描かれたスケッチは、永久の時間の経過を誰しもに感じさせる。植え込み、草花、睡蓮、立ち木などの成長、衰微、そして建物が風雨に晒されてゆっくりと風化していくことによって、この墓地は刻々と様相を異にする。いわばいつまでも未完のままに止まっているのである。スカルパはいつも未完のままであり続けることを愛した。

図37：ブリオン夫妻の墓は、言うまでもなくこの墓地全体の中で最も重要なものである。当初は塔状のものなど、いろいろな案が考えられていたが、ゆるやかなアーチの下にふたつの棺を置くという初期キリスト教時代のイタリアの埋葬形式にヒントを得て、以後その線でデザインが進められた。この図では、寄り添う棺とそれを覆うアーチという原初のアイデアが簡潔な筆致で描かれている。

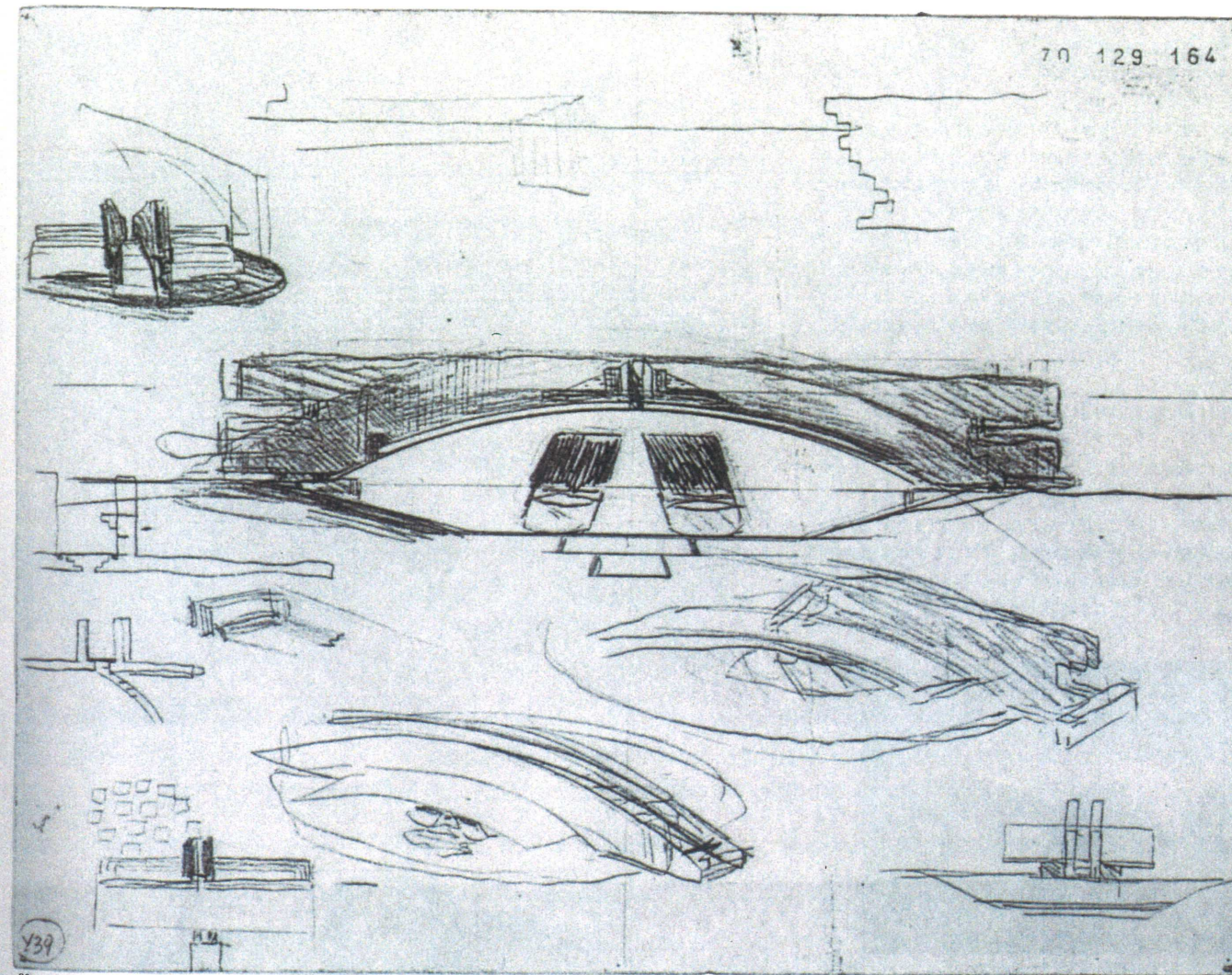
図38、図39：対話を交わしているかのように寄り添うふたつの棺。それらは草原がやや沈んだところに、地面と点で接するように設置されている。そこにはパピオンのある池から水路をへて流れ込んだ水がごく浅くためられている。生命の象徴としての水は、ここからさらにチャペルへと流れて行き、主要な三つの構築物を結び付ける働きをするというのが、初期のアイデアであった。棺を跨いでゆるやかなアーチが架けられ、そのアーチから両側に薄い覆い(シェルター)が撥ね出される。覆いの中央部には光を落とすためのスリットを付け、そこにオニックスの薄板を嵌め込み、柔らかな光が落ちてくるようにした。アーチはスカルパの絶えず好んだモチーフだった。それはふたつのものを繋ぐとともに、下方にあるものを覆うという働きもする。彼はこのような画義的な意味を持ったモチーフに興味を示した。



ブリオン夫妻の墓を望む



38



39

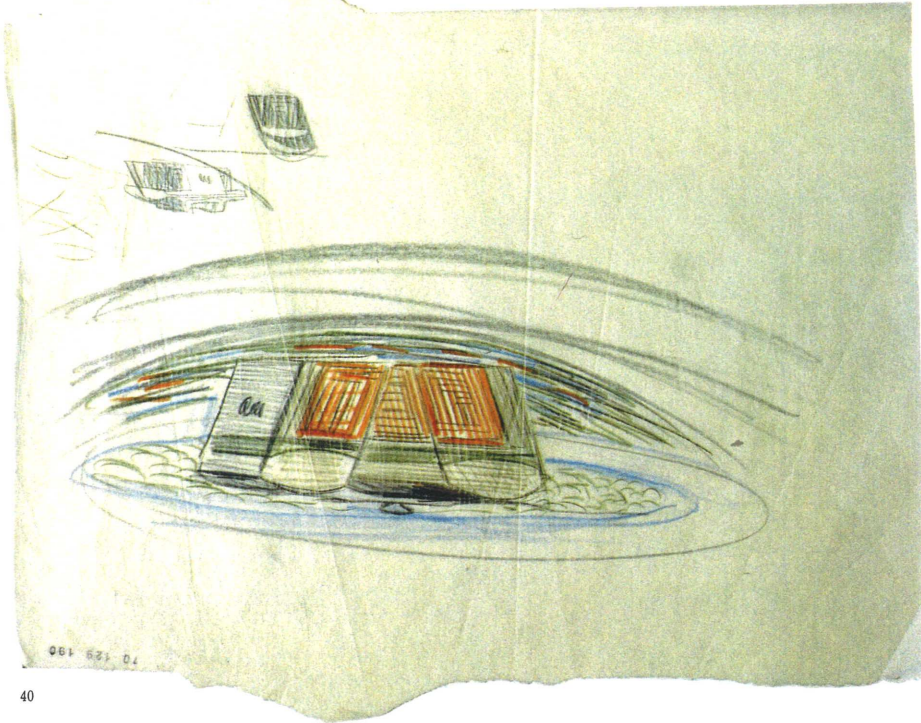
37：初期スケッチ
Sketch; the tomb
Graphite pencil on Bristol board
38：スケッチ
Sketch; the tomb
Graphite pencil on Bristol board
39：スケッチ
Sketch; the tomb
Graphite pencil on Bristol board

図40：簡潔なイメージ・スケッチ。棺については、台座、その上にある支持台、それに支持された棺の本体に明確に分節されている。

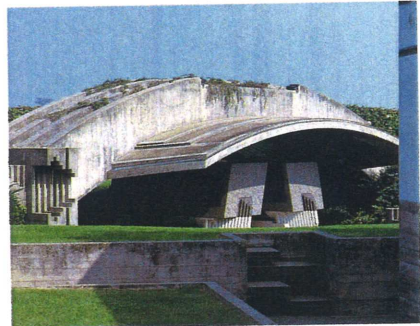
図41：覆い（シェルター）の天井見上げ。モザイクで飾られ、中央、そして端部に星が散りばめられている。ジョットーの世界であり、またラヴェンナのビザンチン建築、とりわけガルラ・ブラキディアが直接的には参照されている。星はそこから光を差し込ませたかったようだ。モザイクはヴェネツィアのムラノ島のワーゴドナの工房で製作された。ここにはスカルパ専用の金と銀のモザイクが今でも確保されている。

図42：橋の上部と端部に花が咲き乱れる。

図43：棺の施工図に近い図面。柔らかいタッチで、丁寧に描かれている。台座（下部）はカララ産の白大理石。その上に黒い花崗岩。それに包まれるように黒檀とチーク（目地）の棺。そして名前は象牙のインレイ。支持するものとされるもの関係を示しつつ、どこまでも執拗に続くジグザグ。



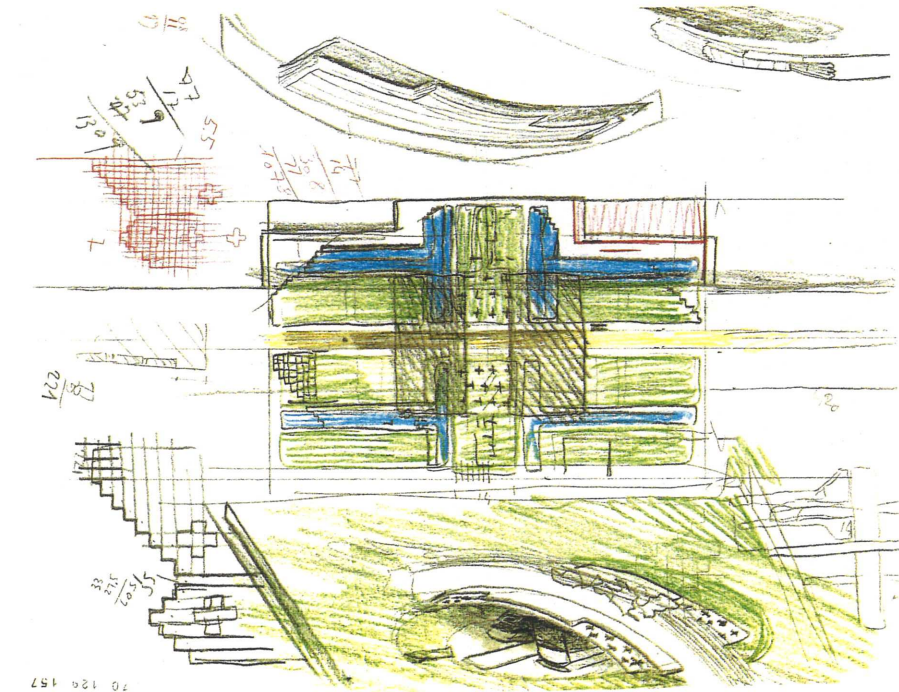
40



アーチの下の大長の棺



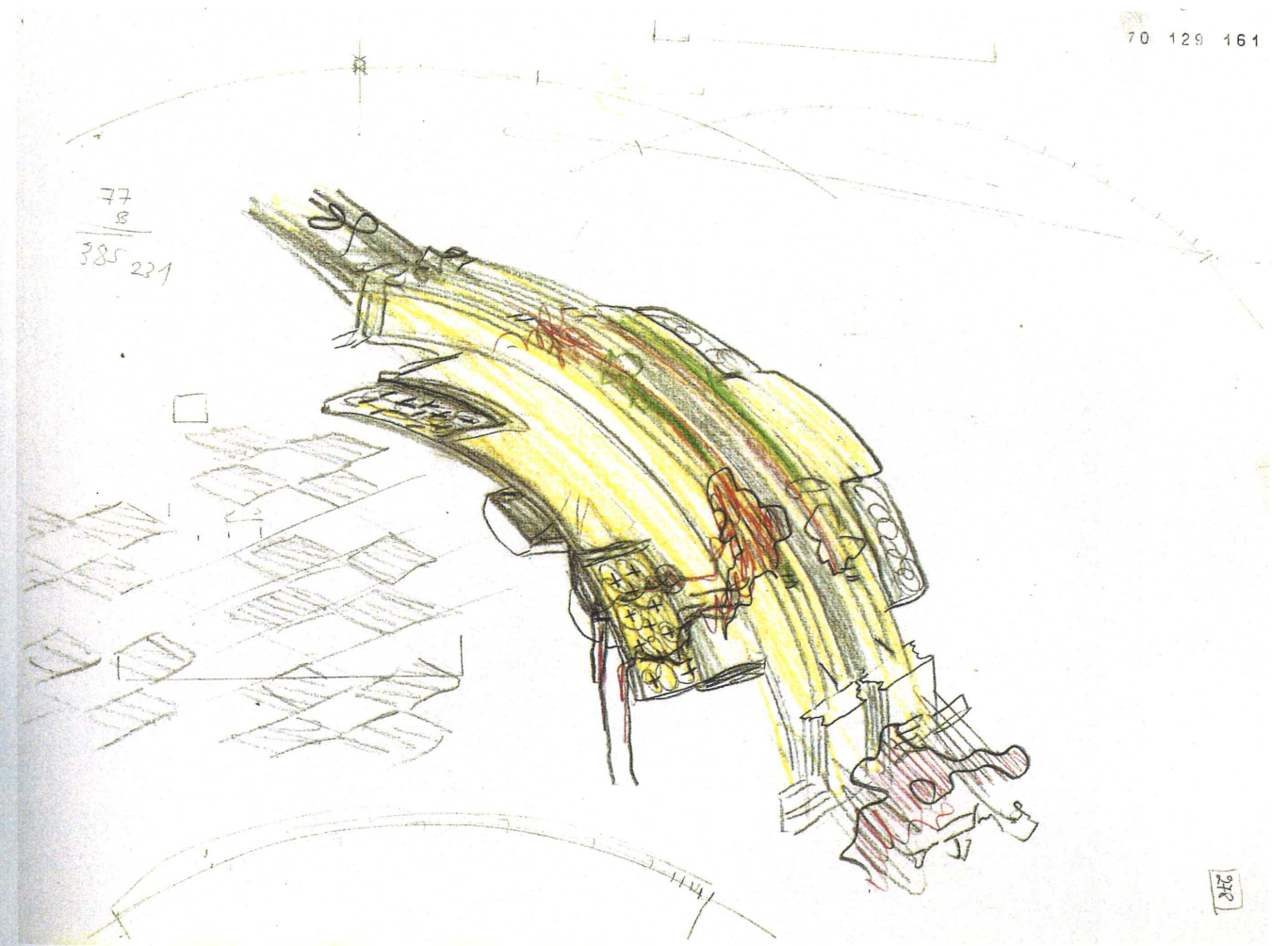
大地を跨ぐアーチ



41

- 40：墓棺のスケッチ
Sketch; the sacrophaghi
Graphite pencil and color pencil on tracing paper
- 41：墓棺をまたぐアーチ状の覆いのスケッチ
Sketch; extrados (arch over the sacrophaghi)
Graphite pencil and color pencil on typing paper
- 42：アーチのスケッチ
Sketch; extrados (arch over the sacrophaghi)
Graphite pencil and color pencil on typing paper

- 43：墓棺の立面図
Elevations of the sacrophaghi 1:10
Graphite pencil and color pencil on illustration board



42

70 129 161

212

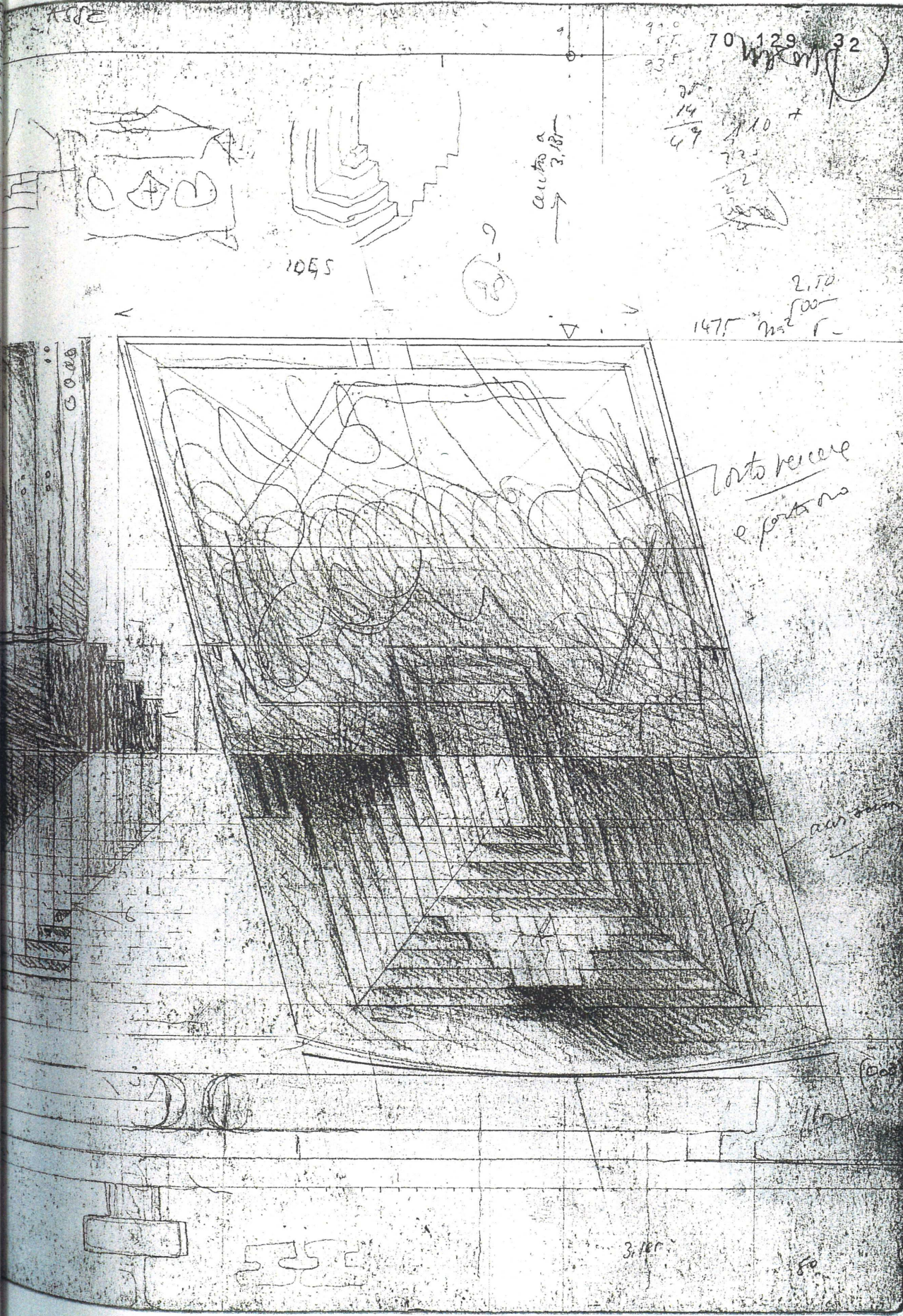
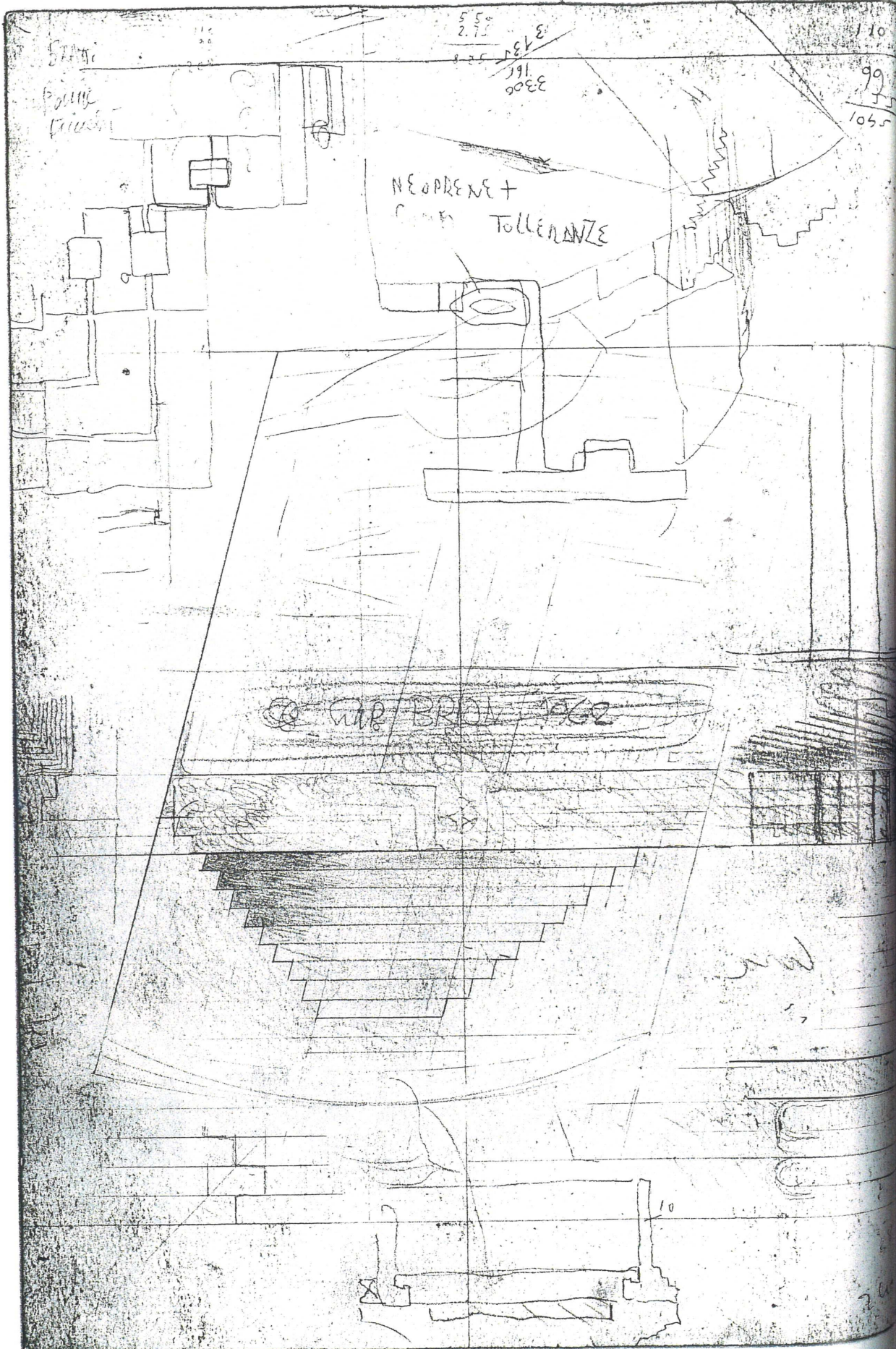
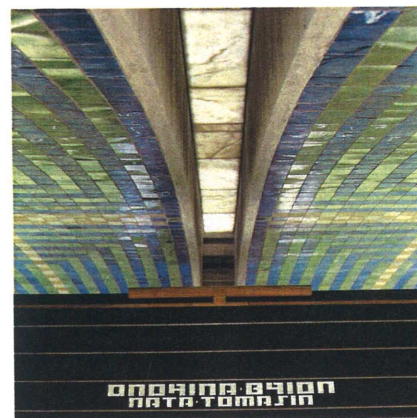


図44：タイプ用紙に描かれた、棺の置かれる床面の、ことにその縁のデザイン。実際には水をためるといふアイデアは放棄されたが、あたかも水を浅く溜めるような水際の縁のディテールである。ジグザグの形状が内に繰り込み、わずか22cmの高低差しかないにもかかわらず、ふたつの平面ははっきりと分離されている。スカルパは同様の手法を、床と壁をはっきりと見切りたときや、床を浮かして見せたいときなどにしばしば使っている。通常の木製の幅木を拒否し、こうした繰り込みか、もしくは分厚い鉄材、または鮮明な青のラインを使って床面と壁面の明瞭な分離を取った。それはディテールというに留まらず、彼の建築の本質である。

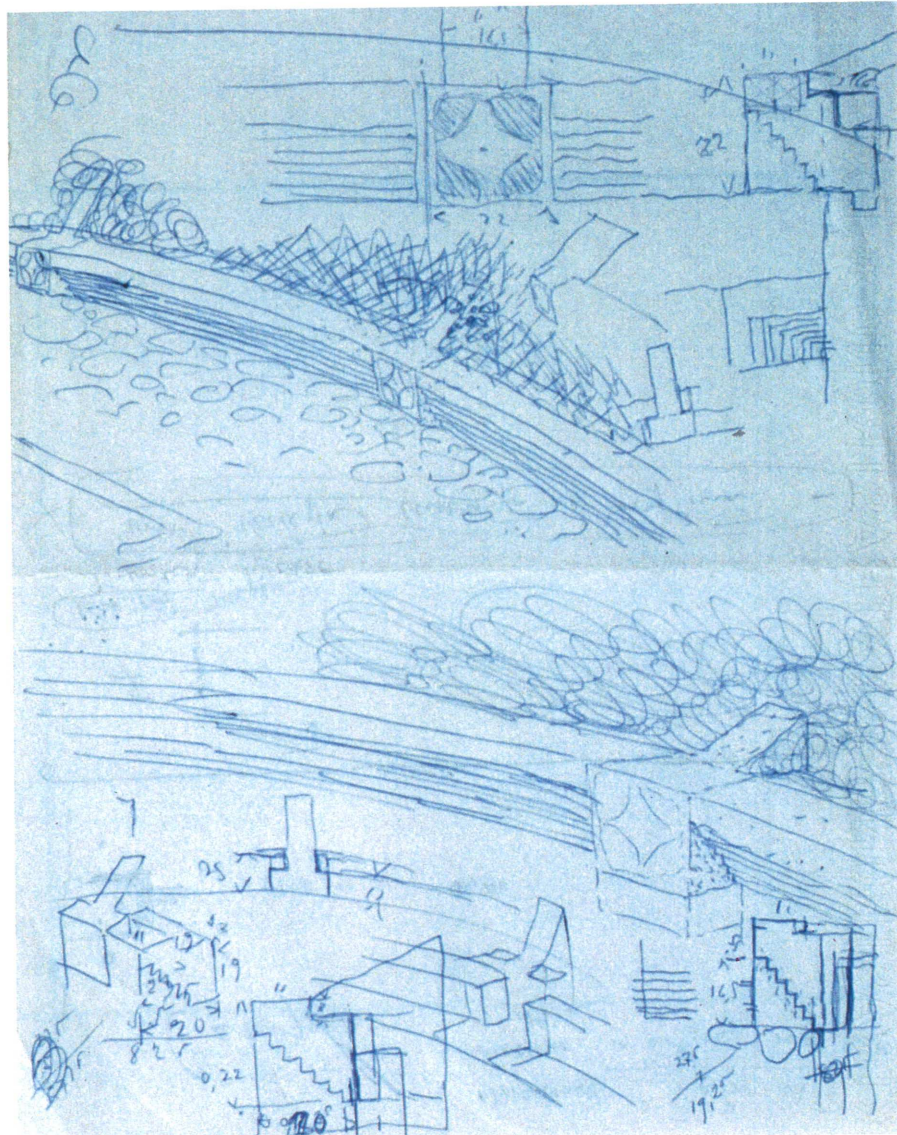
図45：橋のアーチの根元部分のスタディ。端部の凹状の処理は、この部材に引張力が働くことを示している。



棺のディテールと床面の縁



アーチ天井のモザイクと棺のディテール



44

44：墓棺の置かれる床面周辺のディテール・スケッチ
Detail sketch; edge of circular floor
Blue ink on typing paper

45：アーチの根元部分のスタディ・スケッチ
Study sketch; bottom of arch brace
Graphite pencil and color pencil on tracing paper



45

図46：親族の墓の外観スケッチ。ここではまったく例外的に強烈なマス（量塊）が初期の段階から出現している。常に塊を、それを構成している板に分解し、さらにそれらの分節化を追及したスカルパには珍らしいことである。しかもそのマスは水平に置いた立方柱を傾けたような格好をしていて、斜めに大地にめり込んで行くようにさえ見える。こうした扱いはこの墓地内はおろか、これ以外の作品においても現れていない。極めて初期に現れ、そのままほとんど変更されずに最後まで行き着いたという点でも、墓地内の他の部分とは異なる。

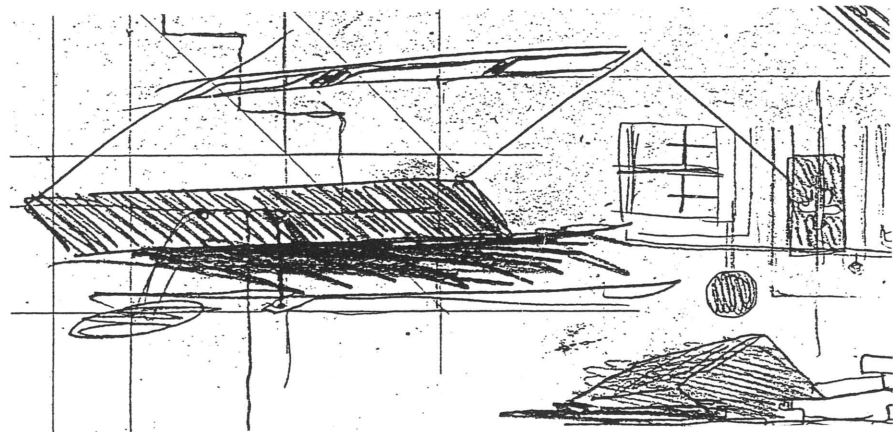


図47：断面。外周の斜めに立ち上がる塙がそのまま伸びて一方の屋根を形作っている。外周に沿って床面が一段と低くなっているため、それを利用して出入りに必要な開口部の高さが確保されている。従って外観上は床面が上がっているため全体の高さが低く押さえられて見え、ことに下部開口のプロポーションがとても良くなっている。下方からの照り返し、そして通路を照らす上方からの光が計算されている。タイトな、それでいて伸びやかな空間。

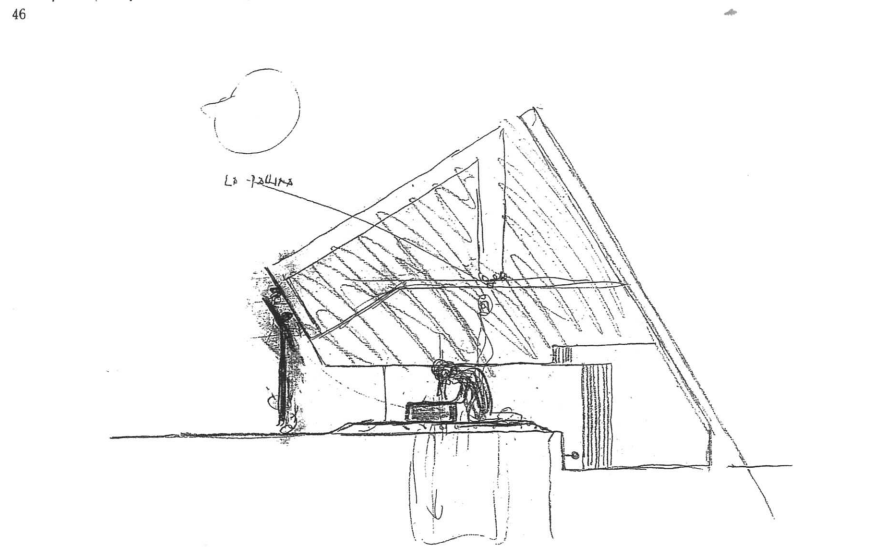
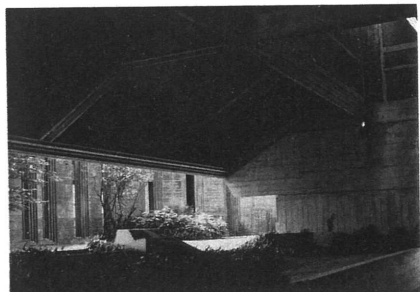
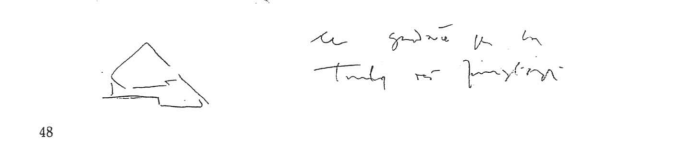
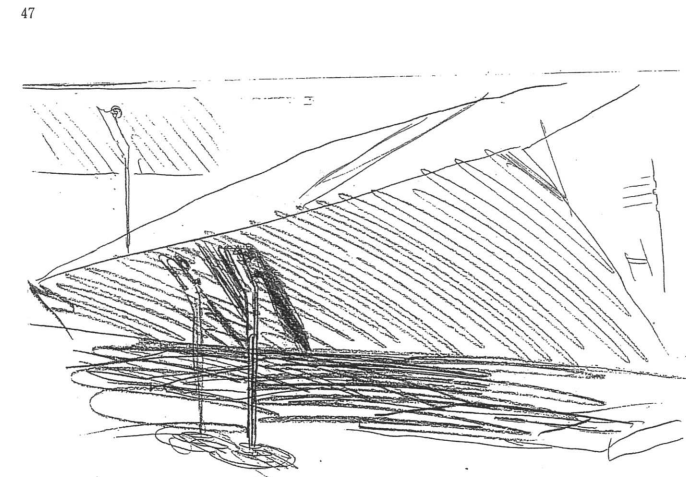


図48：樋をつけることも考えられていた。

図49：樋は止め、ガーゴイルをふたつつけることになった。これはブロンズの鋳物でできている。スカルパは通例は鋳物を使わず、削り出しの部品を接合して使うが、ここでは本体の建築が面の構成ではなく、量塊状の構成なので、金物も同じく量塊的な扱いの鋳物としたのである。



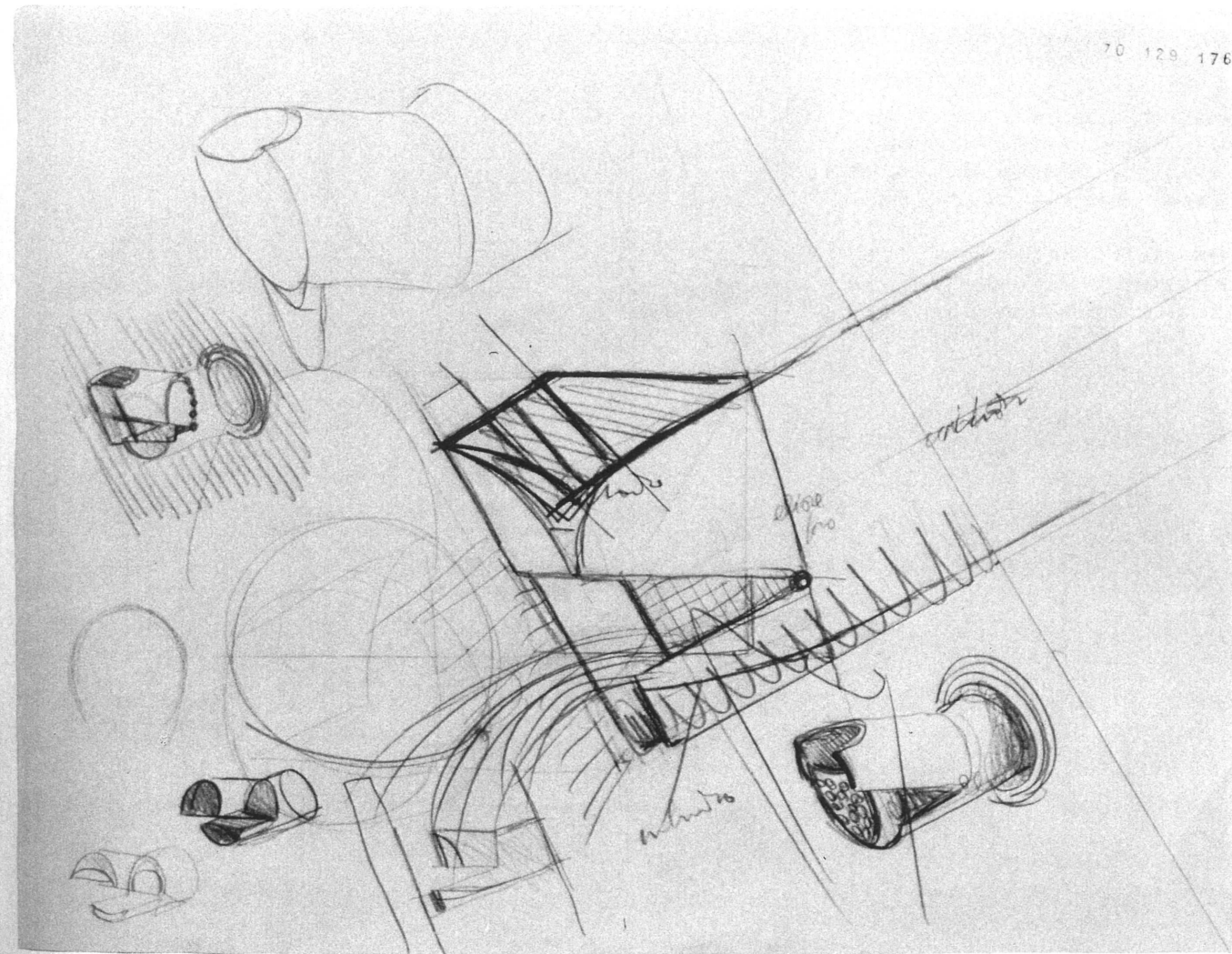
親族の墓の内側からの眺め



ガーゴイル

46：外観スケッチ
Exterior view
Graphite pencil on white stain tracing paper
47：断面スタディ
Section study
Graphite pencil on tracing paper
48：樋のスケッチ
Study sketch; gutter
Graphite pencil on typing paper

49：ガーゴイルの詳細スケッチ
Detail sketch; gargoyle
Graphite pencil on typing paper

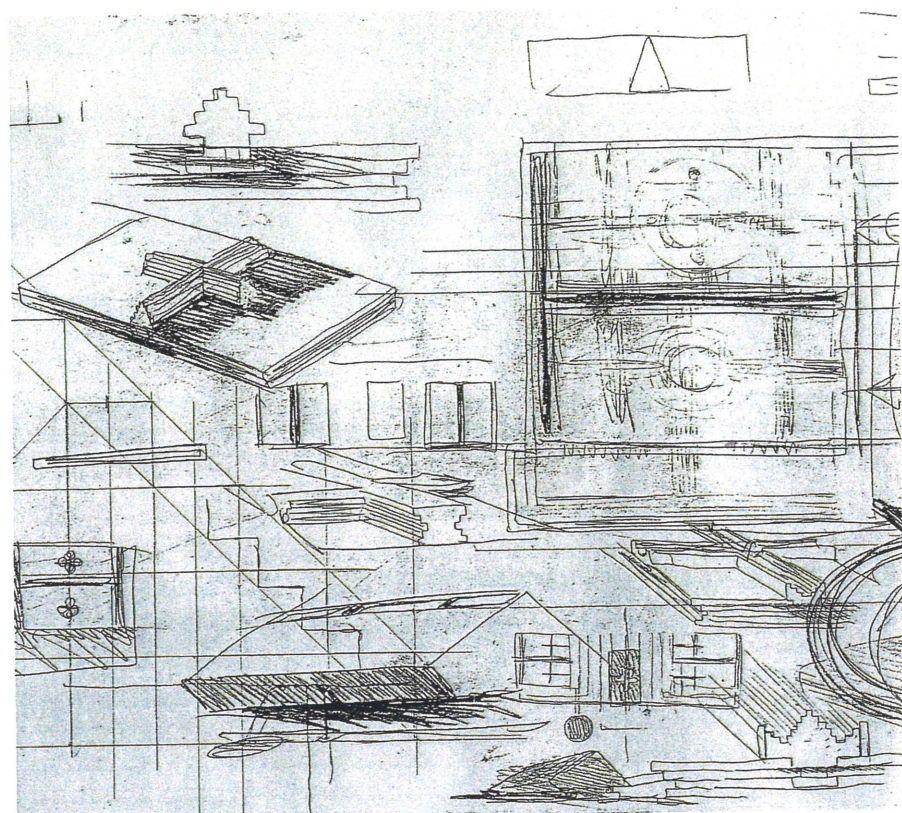


70 129 176

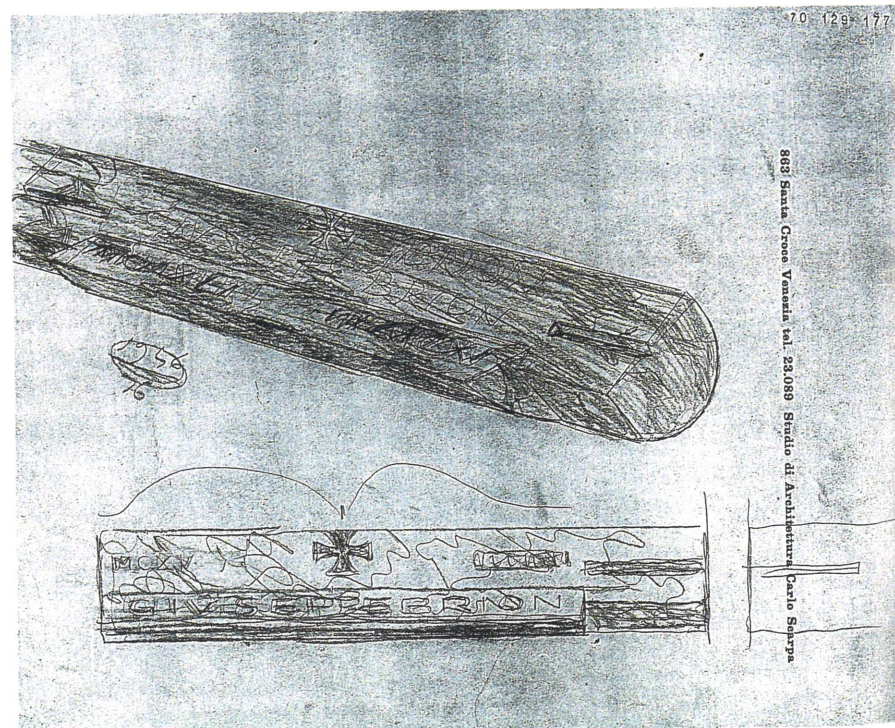
図50：親族の墓の墓石の初期スケッチ。ジグザグ状の十字の突起が棺の蓋である。

図51：結局はこの案に落ちついた。このアイデアはブレシアのテロリスト爆破事件犠牲者慰霊碑のプロジェクトにおいて最初に現れ、消えたもの。円柱を横に倒し、斜めにカットしている。

図52：円柱のカットの仕方、名前の字体など、思いっく限りのバリエーションが検討されている。また名前を刻んだ銘板を階段状に置く別の案のスケッチも見られる。



50

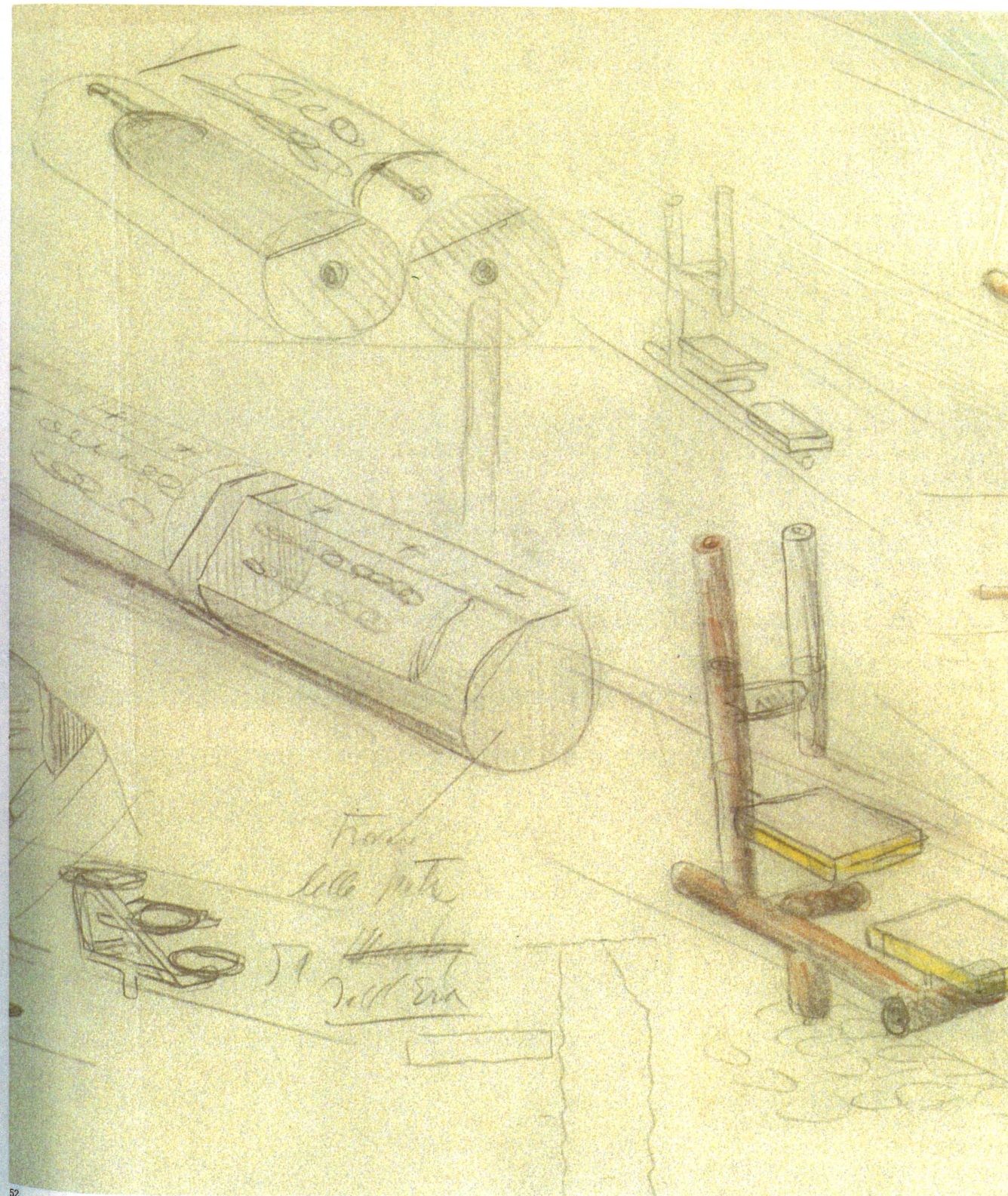


51

50：墓石の初期スケッチ
Plan of memorial stones
Graphite pencil on white stain tracing paper

51：墓石のスケッチ
Sketch; memorial stones
Graphite pencil on stationery

52：墓石のスタディ・スケッチ
Study sketch; memorial stones and stairway
Graphite pencil and color pencil on white stain tracing paper



52